

理系的発想力で現実の科学を刺激する文学賞

第5回日経「星新一賞」作品募集開始

日本経済新聞社（本社東京都千代田区、社長：岡田直敏）は、昨年に引き続き、日本の製造業や科学技術の進歩の鍵となる理系的発想力に重きを置いた新しい文学賞、第5回日経「星新一賞」を実施いたします。人工知能（AI）による作品も含めて募集いたします。作品の応募受付は6月1日より、公式ウェブサイト（<http://hoshiaward.nikkei.co.jp>）にて開始します。（応募要項詳細も同サイトに記載）

いま世界では、大変なスピードで科学技術が進歩しております。その科学技術を「ものづくり」の世界で活かすには、「発想力」が非常に重要なファクターとなりつつあります。

星新一氏は、約40年前に『声の網』という作品で既にインターネット社会を描いていました。科学技術は、こうしたSF小説や理系分野をベースにした発想による「夢」を実現しようと進歩しました。またそれに追い越されまいと、文学が未知なる「夢」の世界を発想する中で、お互いに競い合って未来を切り開いてきたと考えます。

しかし現代は、未知なる「夢」、「発想」が現実の科学技術の進展に追いつき、追い越されつつあり、「圧倒的な想像力」不足のせいで、その螺旋構造がやや途切れかけているようにも思えます。

日経「星新一賞」は、「いかに書くか」よりも「何を書くか」を重視し、理系的知識に裏打ちされたアイデア・発想力を軸に作品を評価していく文学賞です。最終審査員には理系的観点でも第一線で活躍する方々を招き、専門的かつ幅広い視野からも新しい未来に向かう「発想」を発掘し称えていく、これまでにない文学賞を目指しております。

第1回は、一般部門2,546作品、ジュニア部門511作品の合計3,057作品もの応募がありました。第2回は、一般部門1,187作品、ジュニア部門767作品の合計1,954作品、第3回は一般部門1,449作品、学生部門763作品、ジュニア部門349作品の合計2,561作品、第4回は一般部門1,510作品、学生部門255作品、ジュニア部門807作品の合計2,572作品の応募がありました。受賞はしませんでした。第4回はAIでの応募が11作品ありました。また受賞作品は電子書籍販売サイト「日経ストア」より無料でダウンロードが可能です。

グランプリをはじめ、受賞発表は来年2月中旬、授賞式は3月上旬を予定しています。また、関連イベントも随時開催していく予定です。

<第5回日経「星新一賞」の概要>

◆文学賞正式名

第5回日経「星新一賞」

◆主催

日本経済新聞社

◆協賛

J B C Cホールディングス、東京エレクトロン、アマダホールディングス、日本精工、旭化成ホームズ、スリーボンド

◆協力（予定）

星ライブラリ、小松左京ライブラリ、日本SF作家クラブ、エヌ氏の会、きまぐれ人工知能プロジェクト 作家ですのよ、独立行政法人 国立科学博物館、一般社団法人 情報処理学会、一般社団法人 人工知能学会、公益財団法人 せたがや文化財団、世田谷文学館、日本ロボット学会、特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会、青山学院大学、国立大学法人 お茶の水女子大学、慶応義塾大学 先端生命科学研究所、公立大学法人 公立はこだて未来大学、東京造形大学、オーム社/ロボコンマガジン、日経サイエンス

◆特別協力

国立新美術館、株式会社タイタン

◆公式ウェブサイト

<http://hoshiaward.nikkei.co.jp>

◆課題

・一般部門：

あなたの理系的発想力を存分に発揮して読む人の心を刺激する物語を書いてください。

（規定字数：10,000 文字以内）

・ジュニア部門：

100年後の未来を想像して物語を書いてください。

（規定字数：5,000 文字以内）

・学生部門：

30年後の未来を想像して物語を書いてください。

（規定字数：10,000 字以内）

◆最終審査員（順不同）

- ・太田光（タレント）
- ・貴志祐介（小説家）
- ・山崎直子（宇宙飛行士）
- ・松尾豊（東京大学大学院 工学系研究科 特任准教授）
他1名を予定
- ・滝 順一（日本経済新聞社 論説委員兼編集委員）

◆応募期間

2017年6月1日～9月30日

◆賞金・賞品

星新一賞（グランプリ）：一般部門 100万円 / 学生部門 50万円 /

ジュニア部門 図書カード 10 万円分

◆応募規定

- ・ 応募部門は、一般部門、学生部門、ジュニア部門の 3 部門です。
- ・ 学生部門は、応募時点で学校（専門学校を含む）に在学中で、かつ、25 歳以下のみが応募可能です。審査の過程において、学生証のご提示をお願いすることがありますのでご了承ください。
- ・ ジュニア部門は中学生以下のみが応募可能です。
- ・ 一般部門に年齢制限は設けませんが、一般部門、ジュニア部門、学生部門に同じ作品を重複して応募することはできません。
- ・ グループによる共同作品の応募や学校単位での参加を認めます。複数の執筆者による共同作品の場合、応募フォームには代表者 1 名の情報を記載し、ペンネームの欄にグループ名を記載してください。ジュニア部門、学生部門への応募については、グループメンバー全員が締切時点で応募基準を満たしていることが条件となります。
- ・ 人間以外（人工知能等）の応募作品も受け付けます。ただしその場合は、連絡可能な保護者、もしくは代理人を立ててください。審査の過程において、コンピュータをどのように創作に用いたのかを説明して頂く場合があります。
- ・ 応募資格で、プロ・アマチュアは問いません。また、第 1 回から 4 回の日経「星新一賞」の受賞者・入選者の応募も可とします。
- ・ 応募原稿は、日本語による未発表原稿に限ります。縦書き、横書きは問いません。
- ・ 文字数は、一般部門を 10,000 字以内、学生部門を 10,000 字以内、ジュニア部門を 5,000 字以内とします。空白は文字数としてカウントしません。
- ・ 原則、電子ファイルのみ受け付けます。日経「星新一賞」公式サイト上の応募フォームから送付してください。"Microsoft Word"、"テキスト"（.doc/.docx/.txt/.rtf）のみ受け付けます。ジュニア部門は、400 字詰原稿用紙を使用した郵送での応募も受け付けます。郵送先：〒105-0014 東京都港区芝 2-22-15 STK ビル 6F 星新一賞事務局
- ・ 作品とは別に、必ずあらすじを最後にお書きください。PC からのご応募の場合、及びジュニア部門の郵送によるご応募の場合は文字数制限なし、スマートフォンからご応募の場合は 500 字以内とさせていただきます。本文にはカウントしません。
- ・ 応募フォームに、①作品タイトル、②氏名（ペンネーム使用のときは必ず本名を併記）またはグループ名と代表者名、③生年月日、④連絡のつく電話番号、⑤メールアドレス、⑥職業（学校名）、⑦日本以外にお住まいの方は在住国、⑧応募部門、⑨個人/グループを入力してください。ジュニア部門の郵送の場合は最初の 1 枚に記載してください。なお審査の過程では、公平を期すために審査員への個人情報の開示は一切行いません。
- ・ 締切日は、9 月 30 日（土）24:00 とします（ジュニア部門の郵送によるご応募の場合は、9 月 30 日（土）必着とします）。
- ・ 結果発表、授賞式は、来年 3 月上旬以降を予定しています。詳細は日本経済新聞紙面、公式サイト等で発表する予定です。
- ・ そのほか注意事項は、公式ウェブサイトをご覧ください。

【本文学賞に関する問い合わせ先】

日経「星新一賞」事務局

電話・FAX 番号 03-5443-0906

（土日祝日を除く 10:00~18:00）

日本経済新聞社について

1876年以來、約140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えています。主力媒体『日本経済新聞』の発行部数は約270万部で、国内61カ所の取材拠点で1300人超の記者が取材・執筆。2010年3月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は54万超、有料・無料登録を合わせ350万に達します。